

居場所
東 部
三 島 市

コミュニティカフェ“悠遊”



地域の絆を深める場所に!町内会男性有志で 立ち上げた居場所のニューウェーブ

昭和40年代に宅地造成された三島市若松町地域。徐々に高齢化が進み、一人暮らしの増加、孤立化が気になっていた民生委員と自治会長が、町内会の男性有志に声をかけ、平成25年4月にコミュニティカフェ“悠遊”を立ち上げました。場所は町内の自治会館で週2回の開設です。スタッフは全員、定年退職後の男性。皆さん、現役時代は仕事一筋、ボランティアの経験はありません。「いつ、誰が行って、そこで何をしてもいい」がモットーで、運営スタイルも自然体。「悠」の字のごとく、ゆったりとした時と空間の移ろいを感じる雰囲気づくりを大切にしています。70代以上の利用が大半を占めています。利用者が固定化傾向の今、少しでも利用者を増やすべく努力中です。

ここに注目!!

今一番人気の健康マージャン風景。“悠遊”では、コーヒー、紅茶やココア、緑茶等の他、



昼はカレー、ハヤシライスを希望により提供(200円)している。

悠遊で活動している三つの手芸グループの一つが、エコクラフトを材料にしたコースター作りに挑戦しています。ほかに編み物に挑戦するグループ、着物や帯をリフォームして袋物作りに挑戦するグループなど、お弁当持参で楽しい一日を過ごしています。



DATA
☎(055) 973-2074
(悠遊代表 服部光弥)
三島市若松町4295-5
若松町自治会館
開設日時/ 毎週火曜・木曜 10:00~15:00
会 費/ 1日100円
アクセス/ JR三島駅より伊豆箱根鉄道バス 富士見台行き「百合ヶ丘入口」下車 徒歩8分
駐車場/ 無
運営主体/ 若松町自治会有志
代表者/ 服部光弥
※視察は事前の電話連絡必要
(視察連絡先) 事務局 川口与志彦(090-9174-0747)



- 開設のきっかけキーワード
- ◆昭和40年代造成の住宅街
 - ◆高齢化と孤立化
 - ◆定年後の男性有志が立ち上げ

居場所
東 部
函 南 町

カフェ城山

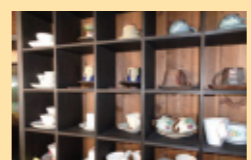


人・知恵・情報がつながり 地域みんなをニコニコ、元気にする居場所

片岡資朗さんが自宅1階を改装し「カフェ城山」を始めたきっかけは、町内の区長を務めていた時に耳にした「みんなが集まる場所があればいいなあ」という声。なだらかな丘陵地に広がる静かな住宅街には独居を含め高齢者世帯が増え、孤立化が懸念されていました。平成28年に自営業を息子さんに譲った後、カフェ開設に着手し、同年8月にオープン。こだわりのカントリー風の内装で、豆から挽いたコーヒーの香りが心地よい空間です。こだわりのカントリー風の内装で、豆から挽いたコーヒーの香りが心地よい空間です。知らない人とでもすぐに会話が弾みます。函南町社会福祉協議会が実施する運転ボランティアによる「おでかけサポート」を利用し来訪する人も。福祉関係者も多く訪れ、ここで情報がつながり、地域の人達をサポートしやすくなったそう。

ここに注目!!

以前はコーヒーに関心がなかったと言う片岡さん。しかし、オープン前に勉強をし、コーヒーマイスターの資格を取得。薫り高いコーヒーをふるまう。



お気に入りの“マイカップ”を置く人も。時折、近所の子ども達が訪れ大人の世間話の相手をしてくれるそう。

男性の利用が8割以上。この看板は、腕に覚えがある常連さん作。



DATA
☎055(978)8142
田方郡函南町柏谷723-25
開設日時/ 10:00~16:00(月~木、土曜日開設)
*福祉関係の勉強会等への貸し切りも利用もあり。
アクセス/ 伊豆箱根鉄道「大場駅」より伊豆箱根バス「畑毛温泉方面」行き「柏谷口」下車 徒歩約15分
参加費/ 200円(菓子代)
駐車場/ 有(店前2台、公民館の駐車場 徒歩1分、柏谷公園駐車場 徒歩2分)
代表者/ 片岡資朗
※視察は事前の電話連絡必要



- 開設のきっかけキーワード
- ◆人が集まる場所
 - ◆趣味の世界を大事に
 - ◆男性が利用しやすい
 - ◆10年後の地域を見据えて
 - ◆お年寄りが元気に過ごせるように

居場所
東 部
伊 豆 市

よってご駅前



地区の公民館を居場所に “いつまでもここで暮らしたい”を目指す

「居場所」を高齢者福祉の拠点に、という方向性を平成27年に打ち出した伊豆市では市民を対象にしたシンポジウムや勉強会を開催してきました。平成16年から市社協の協力で「ふれあいサロン」を月1回開催してきた修善寺駅前地区の住民の皆さんがこれらの勉強会に参加し、居場所「よってご駅前」をオープンしたのが平成28年4月。地区の公民館で毎週木曜日に開設しています。駅前区に暮らす約550世帯に回覧板で「よってご駅前」の月会報を掲示するなど広報に力を入れ、毎回50名程が参加しています。運営スタッフは駅前区の13名の住民。会場の準備など「私たちも手伝わせて」と積極的に声をあげる参加者が出てきたことが何より嬉しいと代表の仁科さんは言います。この町が好き、いつまでもここで暮らしていきたいという人たちの想いが詰まった居場所です。

ここに注目!!



毎月、1週目はカレー、4週目は唐揚げ、2・3週目はスタッフの心もった手作り料理で完食。みんなで食べるご飯は最高!(昼食200円)



修善寺南小4年生の「福祉勉強会」として、「よってご駅前」との交流が慣例となり、夏休みには児童の訪問もある。地域の夏祭りは「よってご」メンバーが主体での盆踊りで盛り上げ、地域の認知も地に着きつつある。



男性の参加が多い「よってご駅前」。なかでも、健康マージャンは人気。囲碁・将棋クラブも出来ました。

DATA
☎(0558)72-2456(仁科)
伊豆市柏久保544-1
修善寺駅前区コミュニティ会館
開設時間/ 木曜日 10:00~14:00
アクセス/ 伊豆箱根鉄道駿豆線 修善寺駅下車徒歩5分
駐車場/ 有
運営主体/ 駅前地区の住民ボランティア
代表者/ 仁科幸子
※視察は事前の電話連絡必要



- 開設のきっかけキーワード
- ◆市民対象のシンポジウムなどで「居場所」について、地区住民が勉強
 - ◆市社協と「ふれあいサロン」開催
 - ◆地区公民館が開催場所
 - ◆独居老人や昼間に一人で過ごす人を孤立させない、支え合う!

居場所
東 部
富 士 宮 市

こころの泉



住民の助け合い活動の 拠点を「居場所」に

地域での生活支援活動から始まったNPO法人こころの泉が運営する居場所。代表の小澤義光さんが10年近く前、出先の山形県天童市で入院した際に受けた現地NPO法人の親身のサポートに感動。「富士宮でも困りごとを抱えている人は少なくないはず」と仲間を募り助け合い活動を始め、平成25年に法人化。同時に拠点を居場所として地域の人に開放しています。居場所から広がる助け合い活動を有償ボランティアとして続けていくことが活動の基本。居場所は誰でも利用でき、週3回ワンコインランチを提供。日中、一人で過ごす近隣住民が食事に立ち寄ります。「裂き織り教室」、「健康体操」のプログラムの他、健康マージャンやカラオケなども楽しむことができます。*居場所は無料で誰でも利用可。生活支援・助け合い活動は会員制。

ここに注目!!



月2回、月曜日に行っている「裂き織り教室」。講師はボランティア。1回400円。




旬の野菜を取り入れ、栄養バランスを考えた500円のランチ。



居場所の近くの畑では野菜を栽培。この日はサツマイモの収穫。

DATA
☎0544(26)7878
富士宮市宮原307-5
F A X / 0544-26-7878
開設時間/ 月・水・金10:00~16:00
アクセス/ JR富士宮駅より白糸行バス「宮原」下車徒歩5分
駐車場/ 有
運営主体/ NPO法人こころの泉
代表者/ 小澤義光
*生活支援活動は会員制。
(個人会員3,000円/年と利用の都度1時間あたり1,000円かかる)
(食事作り、庭の草取り、室内清掃、通院送迎等)
※視察は事前の電話連絡必要



- 開設のきっかけキーワード
- ◆住民相互による生活支援・助け合い活動
 - ◆空き家を改装し居場所に